

# 2017/3/19 アイアンマン 70.3in 台湾 参戦記

宿院 雅広

2015 年秋、2016 年春に引き続き行ってきました南国の台湾。当初の天気予報では雨マークが多かったのですが、なんのなんのいい天気。レース当日は 25 度を超えて暑いなのって。日焼けして真っ黒になってしまいました。果たして柳の木の下に二匹目のドジョウはいるか？2 年連続チャンピオンシップのスポットを獲得できるか？

今回はまっさん、ともちん、ミサト、トシ(ビッグレイク)、私の 5 人で行って来ました。では報告です。



## 【レース前】

3 月 17 日(金)の早朝に京都を出発して台東着は午後 7 時。12 時間ちょっとかかりましたが、台東は 2 回目のため勝手がわかって安心です。駅までホテルのおじさんが迎えに来てくれましたが、ごつい体に黒塗りのパンツで少々ビビる。が、実はめっちゃ陽気で親切。人は見かけによりません。

夜は予め下調べしていた店で前哨戦。これがまためっちゃおいしかった。と、これも 2 回目のなせる業。去年は行き当たりばったりの店で今一つだったのですが、調べればいろいろあるものなんですね。やっぱ事前の準備やリサーチは何事においても大切です。特にレースは…(後述)。

3 月 18 日(土)。朝 9 時から受付をしてバイクコースの下見に。ドフラットのため刺激入れとばかりに飛ばします。路面の状態はあまりよくありません。いやだなあと考えていたら、案の定リヤがパンク。修理キットを持ち合わせていなかったため、みんなに先に帰ってもらいタクシーでお迎えにきてもらうことに。みなさん、ごめんなさい、おかげで説明会に出られなくなりました。

タイヤのチェックをしておくこと、パンク修理セット(買えると思っていたのになかった)を準備しておくことを怠ってしまい、フロントタイヤももしかするとレース本番に不安が残ります。まっでも何とかなるさと楽観的に考えることにしました。が、そこに落とし穴が…(後述)。

翌日は 3 時起床のため 8 時過ぎには就寝です。相変わらずぐっすり眠れました(笑)

## 【レース本番】

朝 3 時に起きて朝食を取り、4 時 15 分にホテルを徒歩で出発。途中でスマホの音楽をかけながら気分を盛り上げていきます。会場に着くもまだ真っ暗なので、ヘッドライトの灯りをたよりに準備をします。

段々空が白みはじめて、大音響の音楽と MC の軽快なアナウンスに気分が高揚していきます。さあ数時間後に無事ここに戻ってこれるか。みんな握手をしいあい気合を入れて 6 時 8 分スタート。

アイアンマン 70.3 の旅が始まりました。

### ○スイム 1.9 km

貯め池の流れもうねりもないひたすらプールのような淡水の中を泳ぎます。3人ずつが数秒間隔でスタートするため全くバトルありません。去年は最初から攻めて調子は良かったのですが、今年は過呼吸が怖くて安全に。そのためか去年より1分も遅くスイムアップ。スイムは好きになってきたのですが、レース運びが課題です。やっぱりもっともって泳ぎ込むことが必要なのかもしれませんが。

スイムアップしてトランジションでトシ発見？おっなんでこんな時間に？あとで聞いてみるとかなり後ろの方でスタートしたとのこと。そりゃ元スイマーには勝てないよなあ。

年代別90人のうちバイクで先行するのは3人くらいと判断し、バイクスタート。

### ○バイク 90 km

今年の冬はそこそこバイクに乗ったのですが、いかにせん追い込んだ練習があまりできていません。苦しいときにさらにもう1段階上げてものがくあの雲ヶ畑早朝TTをやっていません。そのせいか、やっぱり巡航速度が上がリません。練習は正直です。ウソをつかないものなんですね。

それでもできる範囲で力を出して、まずは先行するだろうミサトを追いかけます。15km地点でようやくとらえましたが、なかなかいい走りをしていました。強くなってきたもんやなど感心します。

その後20kmを過ぎたところでフロントタイヤに異変が…。やばい！ひょっとしてパンク？少しずつタイヤの空気が減っていきます。が、走れなくはありません。DHポジションをやめてリヤに体重を乗せ、30km過ぎのメカニックを目指します。スピードは20kmほどしか出ないため、どんどん抜かれます。あー、とうとう空気が全部抜けた。もう終わりだ！と思ったそのとき、目の前にシマノのメカニックテントが！お一天の助けだ！バイクから飛び降りテントに駆け込みました。タイヤを交換するにも持っていないので、ホイール貸してとお願いして、破格の待遇を受けリスタート。よっしゃロスは数分程度や。今からでも頑張ればまだ何とか上位に食い込めるはず。諦めへんぞーとひたすら前を向いてペダルをこぎます。

### ○ラン 21.1 km

暑い。とにかく暑い。日差しも強烈でたまらん。でもこんなにいい天気の中を走れるんだから楽しもうと割り切りキロ4分半でスタートするも2kmで5分弱に。あかん、やっぱり暑すぎる。同年代らしき選手を抜いて順位を予想するも、バイクの遅れがどれくらいかわからない。えーい、こうなったら一度死んだ身やから力を出し切るだけだと言い聞かせ、ひたすら我慢の走りです。エイドごとに頭から水をかぶりシューズはぐちゃぐちゃですが、必死で走ります。

最後は意識朦朧でコースミスをするもダッシュで引き返して笑顔でフィニッシュ！出し尽くしました。全く後悔はありません。あー、これがトライアスロンだと大満足のレースとなりました。

### 【レース終わって】

レース後マコさんから2位だと連絡を受ける。えっマジマジ？諦めないで良かった、本当に良かったと涙が出ました。こんな感動しばらく味わったことがないくらいの気持ちになりました。

スロット獲得か！と期待が高まりました。去年は3位まで行けたから2位ならまず大丈夫だろうと。でも神様は試練を与えてくださいました。もう1回挑戦しなさいと(笑)

準備とリサーチが足りませんでした。そこを神様はちゃんと見ていたんだと思います。5月、ダナンで再挑戦します！

今回同行のみなさん、いろいろ迷惑をかけましたが、お付き合いいただきありがとうございました。アイアンマン70.3台湾は素晴らしかったです。仲間と楽しみ、苦しみ、笑いあった素敵な時間を共有でき、幸せでした。

また来年も必ず行きます。ぜひみなさんも一緒に(^)/